

# 大崎市 議会 だより



第81号

令和6年5月1日発行

- トピックス……………2～3
- 議案審議……………4～7
- 会派代表質問……………8～13
- 予算特別委員会……………14～18

今回の定例会は



桜と歴史を訪ねる子どもたち

(古川地域)

<前年度比4億4,000万円増>

# 638億6,000万円

## 企業会計予算 総額 1,393億6,794万円

### 教育関連

学校教育環境整備事業  
(鳴子小中学校関連予算)  
2億2,233万円

体育施設改修事業  
(古川総合体育館耐震工事等)  
4億46万円

### 建設関連

[関連は17ページへ](#)

陸羽東線塚目駅周辺整備事業  
3,585万円

住宅整備事業  
(岩出山上川原住宅等)  
13億4,483万円

### 病院関連

[関連は16ページへ](#)

地域医療連携拠点施設整備事業  
(夜間急患センターを含む)  
1億4,871万円



### 政策推進枠 総額 1億9,444万円

喫緊の課題への対応や戦略的に取り組むべき分野へのチャレンジをさらに推進するため、令和6年度に創設された予算枠。  
主な財源はふるさと納税が活用されます。

[関連は14ページへ](#)

# 令和6年度 成立 大崎市一般会計予算 他 特別会計・

## 総務関連

関連は14ページへ

おおさき日本語学校関連予算  
2億2,882万円

陸羽東線利用促進対策経費  
510万円

## 民生関連

関連は15ページへ

児童公園維持管理経費  
3,366万円

放課後児童等健全育成事業  
5億5,717万円

## 農業関連

関連は16ページへ

鳥獣被害対策事業(ジビエ関連を含む)  
4,380万円

世界農業遺産推進事業  
2,114万円

## 商工関連

関連は17ページへ

半導体・産業立地推進事業  
661万円

企業誘致促進事業  
2億6,670万円

# 令和6年 第1回定例会

今定例会には、市長提出の令和6年度大崎市一般会計予算をはじめとする予算案25件、条例案18件、報告4件、人事案件5件、その他4件及び、議員提出議案1件が提出され、このうち、決議案第1号は賛成少数で否決となりました。その他の議案は原案のとおり承認、同意、可決されました。

また、請願1件の審査も行われ、請願第1号は不採択となりました。

※議案第4号～第20号及び第22号～第34号までは、予算特別委員会に付託し審査しました。

詳しくはこちらへ



議案審議（こんな事を議論しました）

		件名	審議結果
報 告	報告第1号～第2号	交通事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて	—
	報告第3号	公の営造物の管理の瑕疵に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて	
人 事	諮問第1号～第5号	人権擁護委員の候補者の推薦について	原案同意
専 決 処 分 承 認	議案第1号	令和5年度大崎市一般会計補正予算（第10号）	原案承認
	議案第2号	令和5年度大崎市一般会計補正予算（第11号）	
	議案第3号	令和5年度大崎市夜間急患センター事業特別会計補正予算（第2号）	
新 年 度 予 算	議案第4号	令和6年度大崎市一般会計予算	原案可決
	議案第5号	令和6年度大崎市市有林事業特別会計予算	
	議案第6号	令和6年度大崎市奨学資金貸与事業特別会計予算	
	議案第7号	令和6年度大崎市夜間急患センター事業特別会計予算	
	議案第8号	令和6年度大崎市国民健康保険特別会計予算	
	議案第9号	令和6年度大崎市後期高齢者医療特別会計予算	
	議案第10号	令和6年度大崎市介護保険特別会計予算	
	議案第11号	令和6年度大崎市宅地造成事業特別会計予算	
	議案第12号	令和6年度大崎市工業団地造成事業特別会計予算	
	議案第13号	令和6年度大崎市水道事業会計予算	
	議案第14号	令和6年度大崎市下水道事業会計予算	
	議案第15号	令和6年度大崎市病院事業会計予算	
	条 例	議案第16号	
議案第17号		地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	
議案第18号		大崎市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の規定に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	
議案第19号		大崎市職員の育児休業等に関する条例及び大崎市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	
議案第20号		大崎市都市計画税条例の一部を改正する条例	
議案第21号		大崎市手数料条例の一部を改正する条例	
議案第22号		大崎市手数料条例及び大崎市建築基準条例の一部を改正する条例	
議案第23号		大崎市役所駐車場条例の一部を改正する条例	
議案第24号		大崎市保育所条例の一部を改正する等の条例	
議案第25号		大崎市介護保険条例の一部を改正する条例	
議案第26号		大崎市空家等の適切な管理及び有効活用の促進に関する条例の一部を改正する条例	

		件名	審議結果
条 例	議案第27号	大崎市水道事業給水条例の一部を改正する条例	原案可決
	議案第28号	大崎市公の施設の使用料等の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例	
	議案第29号	大崎市地域外来・検査センター条例を廃止する条例	
	議案第30号	大崎市三本木農産加工センター条例を廃止する条例	
そ の 他	議案第31号	工事請負契約の変更契約の締結について	
	議案第32号	工事請負契約の締結について	
	議案第33号	大崎地域広域行政事務組合規約の変更について	
	議案第34号	市道の路線の認定について	
報 告	報告第4号	交通事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて	—
補 正 予 算	議案第35号	令和5年度大崎市一般会計補正予算（第12号）	原案可決
	議案第36号	令和5年度大崎市奨学資金貸与事業特別会計補正予算（第1号）	
	議案第37号	令和5年度大崎市夜間急患センター事業特別会計補正予算（第3号）	
	議案第38号	令和5年度大崎市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	
	議案第39号	令和5年度大崎市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	
	議案第40号	令和5年度大崎市介護保険特別会計補正予算（第3号）	
	議案第41号	令和5年度大崎市水道事業会計補正予算（第2号）	
	議案第42号	令和5年度大崎市水道事業会計補正予算（第2号）	
条 例	議案第43号	令和5年度大崎市病院事業会計補正予算（第4号）	原案可決
	議案第44号	大崎市地区集会所条例の一部を改正する条例	
	議案第45号	大崎市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	
決 議	議案第46号	大崎市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	否決
	決議案第1号	議案第35号令和5年度大崎市一般会計補正予算（第12号）等に関する附帯決議	
補 正 予 算	議案第47号	令和6年度大崎市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
請 願	請願第1号	物価高騰に見合った年金改定に関する請願	不採択

傍聴者人数

第1回定例会

55人

議会中継(LIVE)  
アクセス件数

第1回定例会

1,101件

第2回定例会の予定

次の定例会は、令和6年6月14日から27日までを予定しています。

ご意見・ご感想をお寄せください

議会だよりについて、ご意見・ご感想がありましたら下記連絡先へご連絡下さい。

発行 大崎市議会

〒989-6188 大崎市古川七日町1番1号  
TEL 0229-23-2236 FAX 0229-23-1013  
E-mail gikai@city.osaki.miyagi.jp

メール送信はこちらへ



## 意見が分かれた議案の賛否一覧

議案第4号 令和6年度大崎市一般会計予算

決議案第1号 議案第35号令和5年度大崎市一般会計補正予算(第12号)等に関する附帯決議

請願第1号 物価高騰に見合った年金改定に関する請願書

議案名	議員名	藤本 勸寿	小嶋 匡晴	小玉 仁志	山田 匡身	加川 康子	法華 栄喜	石田 政博	早坂 憂	伊勢 健一	鹿野 良太	佐藤 仁一郎	八木 吉夫	佐藤 弘樹	中鉢 和郎	相澤 久義	鎌内 つぎ子	木村 和彦	横山 悦子	遊佐 辰雄	只野 直悦	富田 文志	後藤 錦信	氏家 善男	木内 知子	小沢 和悦	佐藤 勝	佐藤 講英	関 武徳
議案第4号	議決結果	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	議
決議案第1号		否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	議
請願第1号		否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	退	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	議

「可」→可決、「否」→否決、「認」→認定、「○」→賛成、「×」→反対、「退」→退席、「議」→議長

議案審議（こんな事を議論しました）

## 請願審議・審査

### 件名

請願第1号「物価高騰に見合った年金改定に関する請願」

### 審議結果

不採択

### 経過

令和6年2月14日の本会議において、民生常任委員会に付託された。

令和6年2月14日、16日（計2回）に亘り審査を実施した。

2月16日の委員会において、表決の結果不採択とすべきものと決定した。

3月5日の本会議において、委員会審査の経過及び結果が委員長より報告された。

委員長報告に対し、1名から質疑があり、採択に対し、賛成の立場から1名、反対の立場から2名が討論を行い、表決の結果、不採択と決定した。

## 討論 請願第1号 物価高騰に見合った年金改定に関する請願

（請願趣旨）物価高騰に見合った年金への引き上げを政府に求める意見書を提出して頂きたい。

### 請願採択に賛成の討論

この10年間で年金額は実質下がっており、物価上昇と関係なく下がるというのはあり得ない。また、物価高騰に見合った年金の支給がなされなければ、地域経済はますます疲弊する。さらに、年金積立金が厚生年金有資格者の増加など、年金制度維持の為に計画的に活用されていない事はおかしいと考える。2年前に議会として可決し、国へ提出した意見書に反して、年金額が引き下げられた事は遺憾であり、今回の請願を採択する事は当然である。

### 請願採択に反対の討論

厚生労働省から令和6年度の公的年金支給額を5年度から2.7%引き上げるとの発表がなされ、増額は2年連続となる。公的年金制度を持続可能にしようとする仕組みや、支給額も直近1年間の物価、過去3年度分の賃金の変動率を基に毎年改定していること、5年に1度の財政検証を行い、7年度の次期年金制度改革に反映させる事など、一定の理解をする。年金制度改革の内容を踏まえ、その経過や結果を精査した上で、改めて同趣旨の意見書が全会一致で提出が出来ないのか議論し、再考すべきとの観点から、今回は反対である。

## 第1回定例会 議案審議

令和6年第1回定例会の議案審議は、2月14日、3月4日、5日の3日間で8人が質疑を行いました。  
議案質疑の要旨については次のとおりです。

## 地域密着型介護サービス給付費事業

**問** 約11.8億円の予算が5億5000万円減額される理由を伺う。

**答** 令和3年度から5年度までの第8期介護保険事業計画において施設の整備を行ってきたが、5年度末に完成予定の施設の整備が遅れていること。また、新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症が多く、当初の見込みよりも施設の利用が大分少なく、今回の補正で減額するものである。

## 指定寄附金

**問** 企業版ふるさと納税寄附金2820万円の補正内容について伺う。

**答** 5年9月補正以降に寄附を頂いた5社分について整理を行い、充当先が確定したため、補正計上するものである。

## 標準学力検査業務委託

**問** 前年比増額の理由を伺う。

**答** 5年度は、宮城県の学力向上マネジメント支援事業のモデル校として5校指定を受けて県補助金で実施した。

今年度は、県支援事業の指定が外れるため、全ての学校が実施する標準学力調査2回分を計上した為に、5年度よりも増額となった。

**問** 新しい学習指導要領に変わって以降、学力の定義が確かな学力や新しい学力観に変わってきているが、標準学力調査をどの様に活用していくのか。

**答** 令和の日本型学校教育に挙げられている個別最適な学び、一人ひとりの理解度、あるいは思考力、判断力、表現力、主体的に学習に取り組む態度を確認するとともに、児童生徒の学びに向かうよい機会となるよう、有効活用したい。

## 陸羽東線塚目駅周辺整備事業

**問** 補正内容について伺う。

**答** 5年度の塚目駅周辺整備の測量設計業務と塚目駅周辺整備に伴うトイレの新築工事の設計業務、新大江川護岸整備工事の工事費を補正計上している。

**問** 塚目西荒井線は狭隘であるが、拡幅等の予定はあるのか。

**答** 6年度に塚目西荒井線の国道347号までの区間、約105mの測量設計を行う。排水路を整備する事で、国道まで歩行空間を確保出来ると考えている。

## 観光施設整備事業

**問** 旧鳴子総合支所関連で約290万円増額となっている理由を伺う。

**答** 旧鳴子総合支所解体設計業務において、現地を精査した結果、ボーリング調査4本の追加調査が必要となったため、増額するものである。

**問** 跡地の活用を公園と決定する中で地域住民の声など、検討状況について伺う。

**答** 鳴子温泉中心市街地の回遊性を高める事や観光客の休憩、キッチンカーの乗り入れ等できる公園、広場を整備する。鳴子温泉観光協会、新屋敷振興会に跡地利活用の概要を説明し、一定の合意を得た。地域づくり委員会では、基本的には解体する方向で合意を得た。様々な方面から跡地利活用についての意見を頂いており、解体に際してさらなる説明を行う。

# 会派代表質問

令和6年第1回定例会は、2月14日に招集され、3月5日までの21日間の日程で行われました。

本市議会では、第1回定例会に限り会派代表質問を実施しており、2月19日、20日の2日間に亘り7会派の各代表議員が、市長の見解を質しました。



## 新生会

只野 直悦

### 人口減少対策、少子化対策

**問** 施政方針では、人口減少対策、少子化対策に触れられていない。出生数の減少は婚姻数の減少に伴う少母等であるが、本市の認識と課題について伺う。

**答** 少母化が進んでいる現状に危機感を持っていて。国ではこども未来戦略を閣議決定し、若い世代の所得を増やす事など、全ての子ども子育て世代を切れ目なく支援していく考えを示している。本市も独自の婚活支援情報ポータルサイトを運営するなど、少子化対策について国の対策を基盤としながら活用できる交付金は積極的に活用していく。

### 森林環境譲与税の活用

**問** 今年交流40周年になる台東区との連携した取組の考えを伺う。

**答** 令和5年度から新たに誰もが参加できる大崎未来の森づくりを実施している。6年度は、台東区民の森づくり事業を併せて実施出来る様に計画している。これ

を契機に、交流促進が図られる様に台東区と協議していく。

### 大崎市の観光振興

**問** 宿泊税に対する本市の所見と方針は。  
**答** 宮城県の財源確保については理解出来るが、宿泊税の用途の明確化と税額や時期については、事業者の十分な理解が得られなければ、宿泊税導入は難しいと考えている。

**問** 観光振興ビジョンの戦略的司令塔の役割として、大崎版DMO創設の考えを伺う。

**答** 鳴子温泉郷が、持続可能な観光まちづくりの体制に向け変革を行い、観光地としての競争力を高める事は重要と認識している。引き続き、地域の自主性を尊重しながら、鳴子温泉郷観光協会の支援をしていく。

### 半導体関連産業と本市の関わり

**問** 半導体関連産業対策チームの役割と進捗状況について伺う。

**答** 6年4月に半導体・産業立地推進室を設置する。国及び県と連携しながら情



報収集や企業誘致を積極的に行うとともに、おおさき産業推進機構と連携して地元企業の受注拡大に向け支援する。また、半導体産業研修会等を行い、地域住民や企業の機運を醸成しながら受入れ準備を進めていく。

### 仮称大崎市子ども計画の策定

**問** 策定の取組方法と既存の各種計画に対する影響について伺う。

**答** 庁内関係課会議を設置し検討を重ね、部内で調整を図り、大崎市子ども・子育て会議や大崎市母子保健連絡協議会を経て策定していく。大崎市子ども子育て支援事業計画と、大崎市母子保健計画との関連性が強くなるものと捉えている。



子ども家庭庁での調査視察の様子

### 学校でのがん教育

**問** 義務教育課程における、がん教育の現状と内容について伺う。

**答** 平成29年3月告示の中学校学習指導要領で、新たにがんについても取り扱う事が明記され、令和3年度から実施している。がん予防とがんの早期発見、回復について理解を促し、今後とも、がん教育の在り方や効果的な進め方について関係機関と連携を図りながら、より一層の充実に努めていく。

## 創 新 会

伊勢 健一

### 教育支援員の配置

**問** 教育支援員の配置現状と加配の見通しについて所見を伺う。

**答** 令和5年度は、小学校16校57名、中学校10校17名、義務教育学校1校5名、幼稚園1園1名の合計80名を配置している。6年度も、学校の実態に応じた支援が出来る様に、現状を把握し適切な配置を行うっていく。

### 放課後児童クラブ

**問** 利用者が増加傾向にある放課後児童クラブ事業の現状と、今後の施設整備等を含めた対策について所見を伺う。

**答** 就学児童数が緩やかに減少している中で利用者は増加傾向にあり、複数地域で待機児童が発生している。なお、古川東児童センターで実施している古川なかよし放課後児童クラブにおける過密状態の解消に向けては、実施場所を確保する為の方策として、専用施設の新設や既存公共施設の活用について、地域の実情を踏まえて検討している。

### 地域医療連携拠点施設

**問** 地域医療連携拠点施設を大崎市民病院の一部として整備する事としているが、どの様に取り組むのか所見を伺う。

**答** 夜間急患センターを本院の救命救急センター隣接地に整備し、初期救急と三次救急の円滑な連携を図り、初期救急患者を切れ目なく受け入れられるよう、郡市医師会と市民病院の分担により、診療時間を翌朝まで延長する方向で調整を進めており、持続可能な医療体制を実現させたいと考えている。

鳥獣被害対策

**問** イノシシやツキノワグマなど、野生鳥獣による被害対策の体制強化が必要と考えるが所見を伺う。

**答** 捕獲を担う大崎市鳥獣被害対策実施隊員を対象に、捕獲技術の向上を図る研修会等を行い、捕獲に努めている。

**問** 農村資源を生かしたジビエの郷づくりの推進について所見を伺う。

**答** 東北初となるイノシシの加工処理施設による大崎市産ジビエに対する関心は非常に高いと感じている。イノシシの捕獲を強化しながら多くの販路も確保出来るよう、関係機関で組織するおおさきジビエコンソーシアムを中心にジビエの普及啓発活動を推進していく。

大崎市雨水管理総合計画

**問** 大崎市雨水管理総合計画の策定に至る経過について所見を伺う。

**答** 近年、激甚化する降雨状況や都市化に伴う雨水流出量の増大等で、市内各所で浸水被害が発生している。浸水シミュレーションを用いた浸水被害発生要因分析や課題整理を行い、下水道による浸

水対策を計画的に実施するため、

時間軸や対策優先度、

財政状況を考慮した浸

水対策に関する基本的

な方針を定める必要があり、計画

を策定した。



越水寸前的大江川（古川地域）

改新クラブ

氏家 善男

新年度予算編成

**問** 令和5年度に引き続き、厳しい財政状況下での予算編成と伺っている。重点事業及び、6年度予算に名前を付けるとすればどの様になるか。

**答** 安全安心なデジタル田園都市の実現、さらに子育てしやすい環境整備を優先した予算とした。今年は縁起の良い辰年です。天に昇る様子から飛翔発展予算としたい。

地域公共交通

**問** 高齢化が進み公共交通の果たす役割は大きい。運行範囲について、隣接する町への運行拡大等が出来ないか伺う。

**答** 利便性の高い運行や地域外への運行を望む声を頂いており、タクシー事業者と調整を行い、一部地域ではあるが地域外運行に至っている。引き続き、タクシ―事業者、運行事業者の協力を得ながら、利便性の向上や持続性の確保に向けて検討、協議を進めたい。

不登校児童対策

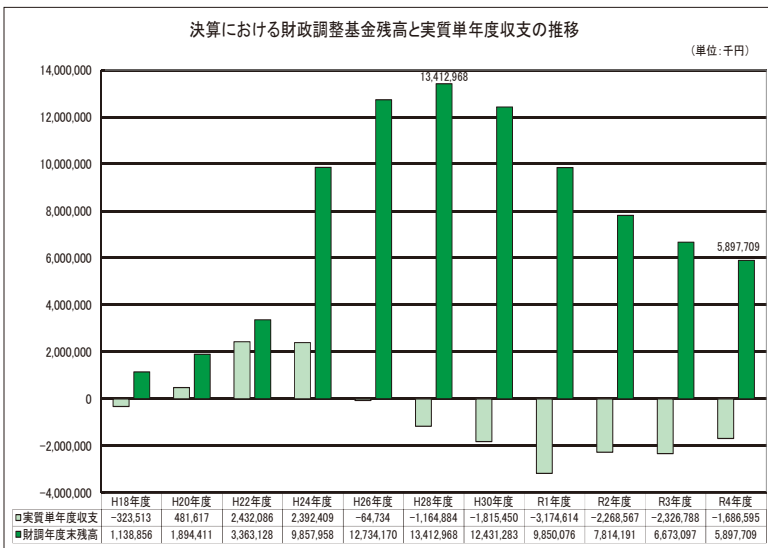
**問** 不登校児童は毎年増加の傾向にあり多様な学びの場の必要性が増している。そこで学びの多様な学校の設置について民間、公設問わず検討すべきと考えるが、所見を伺う。

**答** 対象児童の居場所づくり、相談体制の整備に努めており、新たな体制整備と機能強化を図っていく。学びの多様な学校については、多くの課題があるので、今後検討していく。

財政健全化

**問** 一般会計における実質単年度収支は平成26年度から令和4年度まで9年連続で赤字、財政調整基金の残高も平成28年度末の約134億円をピークに減少の一途である。6年度予算も財政調整基金からの繰入れを前提としており、数年後には財政緊急事態に陥ると危惧するものだが、財政健全化に向けた取組を伺う。

**答** 当初予算において歳入の確保歳出の



宮城県総務部市町村課「市町村決算概要」(平成18～19年度)、「大崎市版決算カード」(平成20～令和4年度)より作成

会派代表質問 (市長に聞きました)

圧縮に努めたが、人件費や物価高騰等により財政調整基金から28億9000万円繰り入れた。財政調整基金の残高50億円を目標に事務事業の見直し、施設の統廃合、遊休資産の売却等財源を確保し、持続可能な運営に努める。

日本共産党大崎市議会議員団

小沢 和悦

大崎市存亡の危機への対応

**問** 学校給食費を含む、教育にかかる保護者負担の軽減の必要性を市長は認識しているのか。

**答** 内閣府の調査によると、学校給食費や学習塾等費用を含めた家庭負担の年間平均は、小学校で約32万円、中学校で約49万円となり、負担は小さくない。学校給食費については、国が無償化に向け実態調査を実施し、課題を整理の上、具体的方策を検討するとしている。

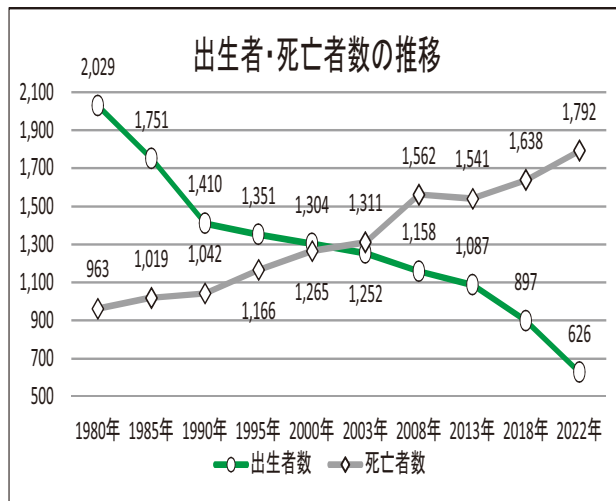
**問** 国がどういいう方策を出すかを見て、学校給食費の負担軽減を検討するという事か。

**答** 給食費の無償化については、国の動向を見ていく。本市では6年度において

地場産食材活用を公費負担で推進するなど、実質的に保護者負担を軽減出来る様に制度を検討している。

**問** 大崎市の急激な少子化傾向を大崎市存亡の危機と認識しているか。

**答** 喫緊の課題と位置付け、各種施策を展開している。



(宮城県企画部統計課「宮城県の人口動態」(昭和55～平成15年), 「大崎市統計書」(平成20～令和4年)より作成)

奨学金返還支援制度の実現

**問** 宮城県が6年度から奨学金返還支援に取り組み企業への助成を始める。栗原市では5年度から全産業を対象に年20万円、5年で100万円の返還支援を始めた。かねてより提案してきたが、大崎市

会派代表質問（市長に聞きました）

でも若者の移住定住促進の為に実現すべきではないか。

**答** 全国36都道府県695市町村で実施されている。今後、宮城県で制度が始まるため、この制度を見た上で、大崎市として上乗せの形など、制度の在り方について検討したい。

NEXT

加川 康子

大崎市の新たな価値創造に向けて

**問** 働き方が多様化している今、スモールビジネスの支援や発掘にさらに取り組み、働き方の選択肢を増やしてはどうか。

**答** 本市ではこれまで様々な創業支援を実施し、多くの創業者を生み出している。令和6年度はスタートアップを誘引するため、おおよそ産業推進機構と連携し、全国からビジネスプランを募集するコンテスト等を計画している。引き続き、スタートアップや新たなビジネスに取り組みやすく安定した就業確保やワークライフバランスの環境作りなど、関係機関と連携し推進していく。

**問** 子どもの意見について、誰もが日常

的に意見を市に届け、意見を反映、フィードバックする仕組みを整える必要があるのではないか。

**答** 会議や市が実施するアンケート以外では市のウェブサイトでいつでも投書できる仕組みがある。子どもや若者と親和性の高いLINEを介したデジタル市役所においても、気軽に御意見やアイデアを寄せて頂ける様な仕組みを採用しており、適切な情報発信と組み合わせる事で、意見聴取やフィードバック機能の一端を担うものと考えている。

**問** 新たな学びや多様な子どもたちの状況に合わせた学びを提供するため、デジタル技術や民間サービスの活用は有効と考えるが、本市での取組はどうか。

**答** 子どもたちの可能性を引き出す様々な取組は、学校だけでなく民間サービスと連携した学習展開等が新たに注目されている。子ども



タブレットを活用した授業風景

もたちの多様な学びや、学習効果に繋がると考えられるが、事業継続する場合には、費用等の課題を整理していく必要がある。今後、学校が民間連携による教育メニュー等を広く選択肢として捉え、活用出来るよう、アプローチャや支援の方法等について検討していく。

大志会

相澤 久義

大崎市の産業

**問** 大衡村に進出する台湾半導体受託製造企業への期待と今後の対応を伺う。

**答** 半導体関連業者はもとより、工場建設に伴う建設や物流、宿泊、住宅関連、飲食、小売業等の幅広い業種への経済効果を期待している。半導体・産業立地推進室を設置し、工業団地造成、地場企業支援、多文化共生の推進、住環境対策等全庁的な体制整備を図り、地元企業の受注拡大に向けて支援する。

農業問題

**問** 農業従事者の平均年齢が68・5歳と

子育て支援

**問** 少子化が進む中、子育て世代の親からは市内に子どもを遊びに連れて行く場所が無いと聞いている。廃校になった小学校等の体育館を遊び場に出来ないか。

**答** 廃校の利活用について、民間事業者との連携を含め、地域の意向を確認しながら施設設置の可能性を検討する。

**問** 三本木新世紀公園内のふわふわドームは親子連れでにぎわって



新世紀公園ふわふわドーム（三本木地域）

公明党

山田 匡身

教育行政

**問** 学校の健康診断における児童生徒のプライバシーへの配慮の考えを伺う。

**答** 児童生徒への十分な配慮と同時に、健康診断では正確な判断が必要となるため、保護者や児童生徒に対し、丁寧な説明が重要だと認識しており、今後、学校とも連携しながら、円滑な健康診断の実施に向け、必要な環境を整えていく。

病院事業

**問** 分院の小児医療について伺う。

**答** 地域の医師の協力により、小児医療の初期診療体制の確保に努めている。

産業・地域農業の強化

**問** 大崎市と国際リニアコライダーの関わりについて所見を伺う。

**答** 建設が実現すれば、世界トップクラスの研究者、技術者とその家族数千人が集まる国際都市の形成が期待される。本市でも様々な経済効果が期待出来ることから、誘致の実現に向けて関係団体と連携し、取り組んでいく。

**問** 地域農家の担い手、人材確保の考えについて所見を伺う。

**答** 農業を持続していく上で新規就農者の確保は最も重要な課題である。国の新規就農支援事業を最大限利用出来るよう支援するとともに、農業所得が減少している状況に応じた農業経営者支援策を講じ、本市の農業振興に取り組んでいく。



経営発展支援事業補助金で導入したトラクター

会派代表質問（市長に聞きました）

# 予算特別委員会

市長提出の令和6年度大崎市一般会計予算をはじめとする12会計の予算及び関連議案について、議長を除く全議員で構成する予算特別委員会を設置し、総務・民生・産業・建設の常任委員会関係分ごとに、6日間に亘り審査を行い、表決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。



## 総務常任委員会所管分

### 経常収支比率の動向

**問** 令和6年度予算編成では、これまでの決算状況を踏まえ、経常収支比率の状況をどの様に考え取り組んだのか。

**答** 経常収支比率は、地方公共団体における財政状況を見る上で非常に重要な指標である。平成30年度決算では91・1%、令和元年度は93・9%、2年度は94・4%と徐々に悪化。3年度決算では、普通交付税の追加交付等があり一時的に91・1%と改善した様に見えたが、4年度決算では93・1%と再び悪化した。経常的経費である人件費、公債費、扶助費に加え、施設の維持管理にかかる物件費等が増加傾向にある。この状態が続くと臨時的、あるいは政策的経費に投入する財源を生み出す事がますます困難になっていくため、これまで以上に事務事業のスクラップを含めた見直し、あるいは公共施設のマネジメントを進めながら、経常経費の削減に取り組む必要があると認識している。

## 政策推進枠

**問** 政策推進枠の検討過程、事業成果や評価を今後どの様にしていくのか。

**答** 予算編成方針で基本的な考え方を示し、それに基づき各部署より事業提案を受け、現状や緊急性、重要性等の視点から他事業との連動性等の高い事業を選定している。政策推進枠の事業は2年を一つのくりとして事業形成し事務事業評価等の仕組みを通じて、有効性、効率性等の観点から精査し評価を行っていく。

## おおさき日本語学校

**問** 6年度の事業費のうち約1億7600万円が宮城県から補助されるが、7年度からは運営費用として約1億円が見込まれている。その半分は大崎市が負担し、もう半分は授業料で賄う計画になっているが、今後の運営費用の見込みについて伺う。

**答** 開校後のランニングコストは本市が負担し、自走する事になっている。しかし、事業費に表れない部分として、県はベトナム、インドネシア、台湾にキャリアサポートセンターを設置し、留学生の募集



日本語学校の教育理念

選考に係る作業を行う予定になっており、県が設置、運営していく点は非常に大きいと考えている。留学生に卒業後も本市に残って頂き地域の力となるというところを見据え、人材を育成し、地域経済を支えていく事も期待している。留学中は本市に住民登録をして頂く事で、普通交付税の対象となり、消費行動による経済効果への波及を狙っていきたい。

**学校給食地場産食材活用推進事業**

**問** 学校給食の賄材料費の積算根拠と財源内訳について伺う。

**答** 6年度の小中学校及び幼稚園の児童生徒数に教職員数を加えた人数に、給食回数と一食単価を乗じた総和で積算している。財源内訳は基本的に保護者からの負担だが、6年度は地場産食材をより多く使い食育推進するため、政策推進枠として約1780万円を確保し、賄材料費に充当しており、実質的に保護者の負担軽減を図っている。

**民生常任委員会所管分**

**子育て支援事業**

**問** こども計画策定に当たったての予算について伺う。

**答** 令和6年度中に計画を策定するため、庁内での検討内容の反映や、各種アンケート実施、子どもの意見の取りまとめ等の業務を委託する。コンサルタントを活用し、計画の充実を図る考えで、財源の一部に国のこども政策推進事業補助金150万円を見込んでいます。

**問** こども未来戦略加速化プランについて伺う。

**答** 若い世代の所得を増やす、社会全体の構造や意識を変える、全ての子ども・子育て世帯を切れ目なく支援するといった3つの基本理念がある。国の動向を見ながら、プランに示された妊娠出産時の経済的支援と伴走型支援を実施する為の経費、児童手当の支給対象拡大や増額の費用を算定後、補正を考えている。

**児童公園維持管理経費**

**問** 民生部所管の児童公園の維持管理について、6年度以降の3年間で集中的に遊具の更新を行うとの事だが内容を伺う。

**答** 政策推進枠を活用しながらこれまで手を掛けられなかった遊具を3年間で直していく。点検劣化度C判定が増加し、更新が遅れた事から、集中的に対応し遊具の安全性を確保していく。

**高齢者福祉**

**問** 各介護施設は、今後、老朽化に伴い設備更新時期が順次到来するが、これらへの対応は可能なのか伺う。

**答** 事業者の手上げ方式で、県の補助金を活用し、進めていく。今回は、岩出山地域福祉センターの修繕として、浴槽の過機、受変電設備の更新工事を計上した。

また同様に、古川保健福祉プラザの空調設備の入替えも計上した。

### 大崎市病院事業会計

**問** 一般財源で充当されている繰出金の内容について伺う。

**答** 救急医療の確保や救命救急センターの運営費、保健衛生行政事務経費として医師、相談員の人件費、不採算地区病院・診療所の運営費、さらに小児医療に要する経費と、企業債の元利償還金等の負担金である。さらに医師、看護師の研究研修経費、院内保育所の運営費、医師の確保と派遣の経費など合わせて6億円ほどを一般会計から繰り出している。

**問** 宮城県北部の医療拠点として、連携協約における市民病院の役割について伺う。

**答** 大崎市民病院は、これまで本院、分院の機能分化、連携強化を進めてきた経験

を最大限に生かし、大崎地域で目指す姿の現に向けてリーダーシップを発揮していく。



医療連携拠点施設建設予定地（大崎市民病院本院）

### 産業常任委員会所管分

#### 鳥獣被害対策事業

**問** 令和5年度、大崎市では何頭のイノシシが捕獲され、何頭がジビエ食肉処理加工等施設に搬入されたのか伺う。

**答** 5年度の捕獲実績は、6年1月末で716頭であり、その内加工施設に搬入されたのは15頭である。

**問** ソーラー電気柵の設置助成について、上限10万円では足りず、大幅に助成しないと農業者の経営が成り立たなくなると考えるが所見を伺う。

**答** ソーラー電気柵の設置助成について

は、5年度125件の申請があった。イノシシが一向に減る気配がないため、より多くの農家にソーラー電気柵を利用して頂きたい。補助上限額の見直しは検討したいと考えている。

#### シテイプロモーション事業

**問** 6年度からシテイプロモーション担当を設置するが、期待する目的や効果について所見を伺う。

**答** 現在も担当はいるが、他事業との兼ね合いで注力しきれない部分がある。6年度はインバウンド対策を強化し、デジタルマップ上の情報を適切な状態にして掲載する新規事業等を通し、大崎市に注目して頂けるよう取り組む。

**問** 台湾プロモーション業務委託料について、事業内容と委託先を伺う。

**答** 半導体企業の進出を受けて、台湾に向けた情報発信イベントの費用を想定し、台湾出身の地域おこし協力隊と連携したプロモーションを展開する予定だが、委託先は未定である。情報発信については、夏祭りや秋祭りなど、地域で開催されるイベントの時期に合わせて実施し、集客を増やしたいと考えている。



## 半導体・産業立地推進事業

**問** 大衡村に進出が決まった半導体受託製造企業について、熊本県では地価や賃金の上昇、渋滞等が話題になっているが、所見を伺う。

**答** 半導体企業の進出に伴い、大崎市の環境も激変すると考えている。経済が回る良い面があれば、中小企業では人材不足という課題もあると考える。そんなピ



熊本県に進出した半導体企業 (JASM 第1工場)

## 建設常任委員会所管分

### 都市計画調査費

ンチをチャンスと捉え、6年4月に新しく半導体・産業立地推進室を設け、各プロジェクトを動かしながら様々な課題について検討し対応したい。半導体についての知識を深めながら、工業団地等の整備についても調査をしている状況であり、知り得た情報をしっかりと発信し、課題解決や新たなビジネス創出など、夢も含めて描いていきたい。

**問** 景観づくりをどの様に進めるのか。

**答** 地域で景観について、いろいろと調べたり、掘り起こして頂き、そのまちが、将来どうあるべきかを景観というものを通して考えて頂くかと思っている。住民の皆様が取り組める景観まちづくり活動を通して、景観というものを身近に感じ、それがまちづくりに繋がっていくのだという実感が醸成される事が大切だと考えている。

**問** 排水路整備計画について伺う。

**答** 市内の全地域で実施しており、流れが悪くなっている状況を解消し、浸水被害

害の軽減と衛生的な環境整備を行っている。地域からの要望を受け整備している。通常対策分と、常襲冠水地区等の浸水対策の2つの事業合わせて2億5千万円を当初予算に計上している。

令和6年度の施工箇所は、通常対策と浸水対策を合わせて23か所を予定している。これまでの整備で浸水被害の軽減など一定の効果はあったと認識している。近年の雨の降り方では根本的な解消は難しいため、田んぼダムや下水道事業の雨水管理総合計画と、調整、連携を図り、流域全体で浸水被害軽減に取り組んでいく。

### 水道事業会計

**問** 給水車の更新と管路の耐震化について伺う。

**答** 新たに購入する給水車は、2t車で、タンクが1・6tの車両とする予定である。

管路の耐震化については、老朽管更新事業と併せて耐震化を図っている。

## 陸羽東線塚目駅周辺整備事業

**問** 事業内容と日程等について伺う。

**答** 塚目駅周辺の整備と市道塚目西荒井線の排水路整備を計画している。6年度の事業内容は、駅周辺整備に伴う用地購入と、市道塚目西荒井線の国道347号までの区間の測量設計を予定している。整備日程は、5年度から7年度までの3か年で計画しており、6年度は前述の事業内容のほかに、JR東日本と工事の協議を行う予定である。7年度には、今回の設計を踏まえて、工事を完了する予定である。



塚目駅周辺（古川地域）

## 討論 議案第4号 令和6年度大崎市一般会計予算の修正案について

(修正案概要) 農林業系汚染廃棄物焼却処理事業を全額削減するもの

### 修正案に反対、原案に賛成の討論

農林業系汚染廃棄物を家庭ごみ等の一般廃棄物と混焼することで、放射性物質を有機物と切り離し、無機物に付着させることにより安定させると共に減容化し、最終的に一般廃棄物の管理型最終処分場に封じ込め、我々の生活圏に影響を与えない状態にするものである。安全対策の検証を継続して実施し、モニタリングの結果は広域行政事務組合のウェブサイトで公開されており、数値も基準内に収まっている。これまで積み上げてきた安全基準を遵守し、着実に処理すべきと考え、修正案に反対し原案に賛成する。

### 修正案に賛成、原案に反対の討論

廃棄物の処理及び清掃に関する法律では、100Bq/kgを超えるものは本来処理できないが、特別措置法により8,000Bq/kg以下を一般廃棄物として取り扱っているため、不安を感じる市民がいるのは当然である。平穏生活権を脅かしている事から現在、仙台高等裁判所で係争中であり、令和6年6月6日に判決が出されるので、問題がないから焼却処理を行うという態度は取るべきではないと考え、修正案に賛成し原案に反対する。

## 予算特別委員会委員長報告要旨

本委員会は、議案第4号から同第20号及び同第22号から同第34号までの30件の議案を付託され、正副委員長互選の後、6日間に亘り委員会を開催しました。

所管常任委員会関係分ごとに会派で質疑を行い、延べ53人の委員が質疑に立ち、論議致しました。

そして、委員会最終日に、議案第4号令和6年度一般会計予算に対し、農林業系汚染廃棄物焼却処理事業関係予算を全額削減する修正案が提出され、反対、賛成の立場からそれぞれ討論があり、採決の結果、修正案は否決となり、原案のとおり可決すべきものと決定致しました。

ほか29件については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定致しました。

情報化対策特別委員会活動報告

◎鹿野良太 ○石田政博 小玉仁志  
山田匡身 加川康子 早坂 憂  
中鉢和三郎 後藤錦信【委員数8名】

読みやすい議会だよりを目指して

委員長 鹿野 良太

情報化対策特別委員会では、年4回の定例会が終わる都度、議会だよりの編集作業及び発行を行っています。議論の中で、紙面構成のマンネリ化や情報量の多さが課題として出され、どうしたら市民の手に取ってもらえるか、分かりやすく伝わるのかを話し合ってきました。

そこで、令和5年11月8～9日に東京都西東京市において、「議会報編集方針分科会」、東京都あきる野市では「議会だよりのリニューアル」について行政視察を行いました。

西東京市では、広報紙が市議会に興味を持って頂く入り口として位置付けし、議案名等が分かりにくいものは、かみ砕いて掲載し、情報が伝わる様に工夫されています。また、活動が見えにくい議長公務も積極的に発信しています。さらに、

議会報編集方針がある事で、やるべき事を改めて確認出来るツールとして機能していました。

あきる野市では広報紙の名前を親しみやすく、柔らかい印象の「ギカイの時間」と改め、行政用語ではなく、通じる言葉で表現されて読みやすい広報、市民の興味を引く広報となりました。

両市とも、市民の身近な広報紙として、市民目線で作り上げられており、これらの取組は本市でも参考になる物ばかりで、今後の議会だよりの編集技術向上、さらに魅力ある広報紙へ向けて活用して参ります。



議会報編集方針分科会等について（東京都西東京市）

開催回数

委員会12回

議会の主な動き

3月

- 8日 議会改革推進協議会幹事会
- 14日 議会改革推進協議会幹事会
- 21日 議員研修会
- 25日 情報化対策特別委員会
- 29日 議会運営委員会

4月

- 5日 情報化対策特別委員会
- 16日 議会改革推進協議会幹事会
- 24日 議会運営委員会



議員研修会

本市議会では、令和6年3月21日に青森大学社会学部教授佐藤淳氏を講師に招き、「対話する議会・議員」、「SOUNDカードを活用した市民との意見交換会の活性化」をテーマに講演を頂きました。

前半は「対話する議会・議員」について講義をして頂き、後半は実際に場の活性化を促す為の言える化ツールである「SOUNDカード」を使用し、「私が思う子育てしやすい大崎市」について等々テーマに議員間で対話を行いながら、現状認識の共有やビジョンの策定を行いました。

今回の研修の内容を踏まえて、市民との対話を重ねながら、さらなる住民福祉の増進を目指して取り組んで参ります。



議員研修会の様子

表紙の写真

古川のまちの中で、一本の桜の木が満開の花を咲かせていました。その下には石塔がいくつも並んでいて、不思議なたたずまいに思わず車を停めて写真を撮りました。

その景色を2人の子どもが真剣なまなざしで見つめており、悠久の時の流れを感じている子どもたちの姿と、未来への夢と希望を応援する様な満開の桜に心ときめきました。

4月は旅立ちの季節でもありました。多くの若者が社会人としての第一歩を歩み始めた事でしょう。新たな門出を私たちもしっかりと応援したいものです。



石塔と桜

編集を終えて

令和6年度当初予算も本定例会で可決し、新年度が動き始めます。この春、市議会の各委員会は2年間の任期が終了します。本特別委員会も現8名の委員による編集作業は今回が最後となりました。これまで長時間に及ぶ編集では悩んだりやり直したり、思う様に作業が進まない事も多々ありましたが、その都度委員の推敲能力や、斬新なアイデアに助けられ、毎号発行する事が出来ました。

委員会構成は変わりますが、大崎市議会では住民福祉の増進に向けた活動が継続されますので、今後も議会だよりを手にとって頂き、その様子をご覧頂ければ幸いです。

これまで議会だよりを楽しみに読んでくださった市民皆様へ感謝を申し上げます。

鹿野 良太

◆情報化対策特別委員会◆

- 委員長 鹿野 良太
- 副委員長 石田 政博
- 委員 小玉 仁志
- 委員 加川 康子
- 委員 中鉢和三郎

- 山田 匡身
- 早坂 憂
- 後藤 錦信